

# 木の皮や草で織った布を彩る

## 原始布・古代織と職人の出会い展

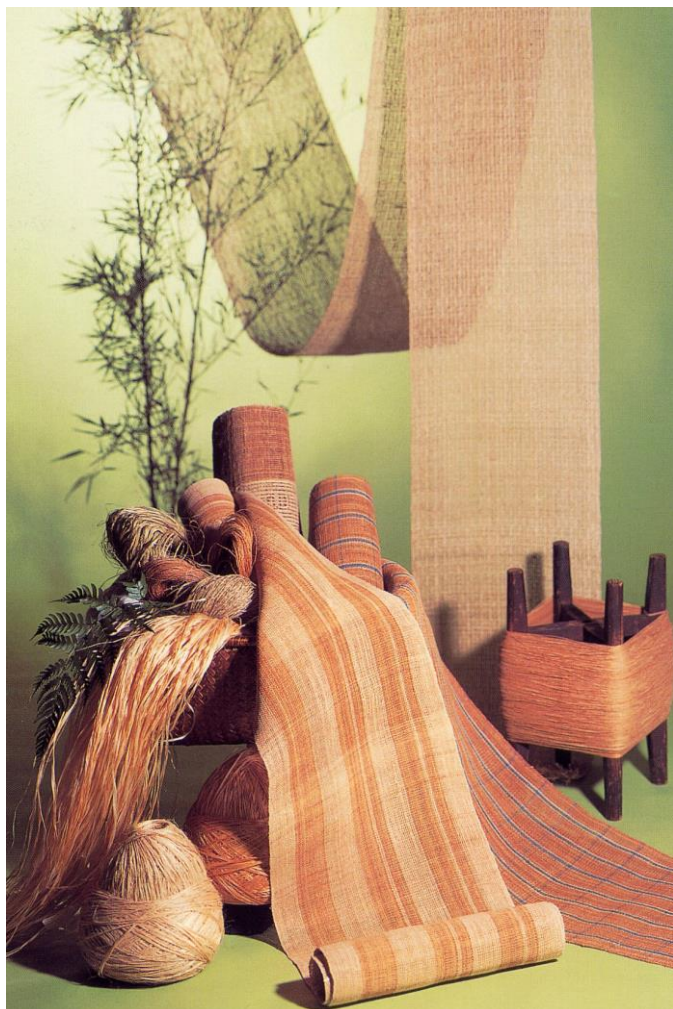
失われてしまった古代の布を甦らせ、美しい布を作るのに多くの職人、染師に協力いただきました。今回は、その中から「正藍型染師・故、田中昭夫氏」と「正藍筒描、絞り染作家・菅原 匠氏」二人の貴重な作品を展示致します。

熟練した職人の手により紡ぎ出された、ぜんまい紬・しな布・からむし布・紙布・手引き木綿布など希少な生地と呼応した匠の技を是非ご覧下さい。又、いにしえの人々が使用した古い資料と復元した作品の数々もご覧頂きたいと思います。

\*「ぜんまい紬」は綿毛をふんだんに(緯糸に約五割)織り込んでいる他に類を見ない特殊作品です。

\*その他の作品として

しな布、いらくさ布、からむし布、ぜんまい織、紙布、琴糸織、などの帯、着物、シヨール、バック、暖簾、飾布等。



風雨から新芽を守るぜんまいの綿から作られた布は、脅威の撥水力を発揮する。先人の知恵に驚嘆。

**2023年5月15日(月)～5月18日(木)**

**10:00～18:00 入場無料**

\*最終日は16:00まで(入場は閉場の30分前まで)

**会場:東京交通会館 地下1階エメラルドルーム**

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-10-1

TEL03-3212-2931

(問い合わせ)

主催: 原始布・古代織参考館

原始布織工房出羽の織座

山形県米沢市門東町1丁目1-16

TEL: 0238-22-8141 FAX: 0238-22-8142

Eメール gensifu@guitar.ocn.ne.jp

URL <https://gensifu.com/>



写真奥の左、正藍型染濃淡紅殻刺し帯(田中昭夫作)  
右、正藍絞り染帯(菅原 匠作)

